

## Program

### 1) Johan Sebastian Bach (1685–1750)

"Brandenburg Concerto" No.3 『ブランデンブルク協奏曲』 第3番

1. Allegro moderato 2. Adagio 3. Allegro

Since Bach dedicated the six concertos to the margrave of Brandenburg, the title is given. The orchestra is divided into three parts in Violin, Viola and Cello each. Each part echoes through the music, creating a pleasant acoustic space around us.

6曲からなる合奏協奏曲がブランデンブルク公に献呈されたことが名前の由来。第3番は、独奏部と合奏部の区別がなく、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロが各々3つに分かれ、各楽器が木霊のように反響し合う。今回は、奏者が丸く並んで立体的な音響空間を作り出す。

第1楽章 ト長調の明るい堂々としたリズムカルな主題の総奏ではじまる。短調の分散和音が長調の主題と交錯する。豊かな音響によって作り出される深い味わいが、バッハの骨太の楽風を伝える。

第2楽章 チェンバロが奏でる古風なカデンツァが、第3楽章へと途切れなく導く。

第3楽章 ヴァイオリンが3声に分かれて上昇と下降の音階を心地よく反復する。これにヴィオラと通奏低音が加わり、輝かしく豊かな音響空間が出現する。チェンバロの変化に富んだ分散和音も聴き所で、爽快で踊りたくなるように楽しい。

### 2) Antonio Vivaldi (1678–1741)

"Autumn" from Violin Concertos "The Four Seasons" 『四季』より「秋」

1. Allegro/Larghetto/Allegro/Allegro molto 2. Adagio 3. Allegro  
Solo Violin: Takako Yoshii  
♪独奏ヴァイオリン: 吉井孝子

The Four Seasons is known as one of the most beloved piece of Baroque music. The 'Autumn' is written in the style of first-slow-first and the music in each movement is characterized by short poems called sonnet.

『四季』は、世界中で愛され続けているバロック音楽の名曲。急-緩-急の様式で書かれており、それぞれにソネットと呼ばれる詩が添えられている。ソネット (A~H) をもとに、音のイメージを思い描くのが楽しい。

第1楽章 A: 村人は踊りと歌で豊作を祝い。B: 酒が祭りを盛り上げる。C: 宴が終わると安らかな眠りにつく。

第2楽章 D: 祭りのあとには平穏な静けさが流れ、村人を甘い夢路にさそう。

第3楽章 E: 夜明けには狩人達が手に銃と角笛を持ち、犬を連れて狩りに出かける。F: 逃げゆくもの、そして追う狩人。G: あわれにもおびえる獣たちは、追われて撃たれ、傷つき逃げる。H: 逃げる力も尽きて、追いつめられて果てる。

### 3) Georg Friedrich Händel (1685–1759)

"Ombra mai fu" 『オンブラ マイ フ』

Vocal: Hirochika Nakajima (Waseda Univ.)  
♪歌: 中島啓幾 (早稲田大学)

The piece is an aria from the opera "Serse" by Händel. The phrase in the aria "Ombra mai fu di vegetabile, cara ed amabile, soave più" means that "Never was a shade of any plant, dearer, more lovely, or sweeter."

オペラ『セルセ』で王セルセによって歌われるアリア。ヘンデルのラルゴの名前でも知られている。詩の内容はプラタナスの木陰への愛を歌ったもの。歌詞の意味は、“いとしい木陰よ、おまえほどうるわしい木陰がまたとあったらどうか。”

### 4) Edward Elgar (1857–1934)

"Serenade for Strings" 『弦楽のためのセレナーデ』

1. Allegro piacevole 2. Larghetto 3. Allegretto

At the occasion of the 3rd anniversary wedding celebration, this work was composed for his wife, who used to be an Elgar's student of violin.

ヴァイオリンの教え子と結婚したエルガーは、三回目の結婚記念日の妻への贈り物としてこの曲を作った。急-緩-急の三楽章で構成される。

第1楽章 ヴィオラが快活なリズムを刻み、ヴァイオリンの主旋律が陽気に後を追いかける。再びヴィオラのリズムがはじまり、下降する音型がこれに続く。ヴァイオリンの豊かな旋律によって盛り上がりを迎えた後、チェロとコントラバスが冒頭のリズムを繰り返して静かに楽章を閉じる。

第2楽章 第1ヴァイオリンが奏でる柔和なモチーフによって曲がはじまる。叙情味に満ちた旋律がドルチェで歌われ、情感がきわまった後、静けさを取り戻す。

第3楽章 チェロが奏でるト音によって、躍動的な序奏が開始され、第1楽章の主旋律を彷彿とさせるメロディーが現われ、変奏されて行く。唐突に第1楽章のリズム・モチーフが現れ、ヴァイオリンソロによる再現を経て、変形されたリズムによって静寂の中に曲を閉じる。

### 5) Benjamin Britten (1913–1976)

"Simple Symphony" 『シンプル・シンフォニー』

1. Allegro molto 2. Presto possibile-pizzicato sempre  
3. Poco lento e pesante 4. Prestissimo con fuoco

Britten had a talent for music from his very young ages. The work was composed when he was 21 years old with originality and ingenuity, using his study pieces that had been written in 9-12 years old as the motifs for the "Simple Symphony".

ブリテンは幼くして音楽の才能を示した。9歳から12歳の間に作曲した習作を素材にして21歳の時に完成させ、創意と工夫に満ちた作品となっている。

第1楽章 「騒々しいブーレ」ピアノ組曲から取られた力強い序奏にはじまる。弱奏の中で、歌曲に由来する回想的なメロディーが繰り返し奏でられた後、クライマックスが訪れる。熱狂が去った静けさの中に冒頭の主題が回想されて曲を終える。

第2楽章 「おどけたピチカート」弓を置いてピチカートのみで演奏する。最初はひそひそと、次第に騒々しさを増して周囲に拡大していく。中間部ではギター風の伴奏によって、ヴァイオリンが英国風のロンドを奏でる。再びスケルツォの主題に戻り、騒々しさがおさまったと思いきや、最後は鋭い和音で締めくくる。

第3楽章 「感傷的なサラバンド」前楽章とは対照的に、ゆっくりとしたテンポで切なく、美しいト短調の旋律が心に迫る。純真な心が抗しがたい運命に翻弄され、苦痛にうちひしがれる様子を思い描かずにはおれない。

第4楽章 「ふざけ気分の終曲」ピアノソナタからとられた主題が力強く全奏される。ヴァイオリンがチェロの軽快なピチカートに乗ってリズムカルな主題を歌いだす。高揚する気分はユニゾンの強奏によっていっそうの高みに昇る。最後は弱奏に始まる主題がフーガ風に重なり合い、上昇音形が最高に盛り上がり最強奏で終わる。

**Machida Philharmony Baroque Ensemble (MPB)**  
**町田フィル・バロック合奏団**

Machida Philharmony Baroque Ensemble (MPB) is a community orchestra located at Machida-city, Tokyo. This Ensemble was founded in 1990 and has been performing the Microconcert as the social event of Microoptics Conference.

町田フィル・バロック合奏団 (MPB) は、東京都町田市のコミュニティーオーケストラである町田フィルハーモニー交響楽団のメンバーを中心として、1990 年から活動している室内合奏団です。微小光学国際会議 (MOC) のイベントとして、これまで 17 回のコンサートを国内各地、ドイツ、韓国、台湾などで開くとともに、2011 年には、仙台にて震災復興チャリティーコンサートの形で開催しました。地域の人々にやさしく聴いていただける音楽を提供するために、ケアプラザでのコンサートにも毎年出演しています。



Concert 2016 at Wako Univ. Popuri Hall Tsurukawa

**Members of MPB**

Chair: Prof. Kenichi Iga  
Solo Concertmistress & Coach: Takako Yoshii  
Secretariat: Kaeko Fujii  
Stage Manager: Akio Yoshii  
Violin: Takako Yoshii, Kaeko Fujii, Tomoko Iga, Shoko Suzuki, Sanae Konno, Mizuho Okada, Mizue Hoshi, Mariko Furuta, Yoshikazu Karasawa, Michiko Hoshijima, Erika Masuzawa, Akiko Maehara  
Viola: Yoko Miyazaki, Katsumi Mori, Reiko Araki, Yumi Matsubayashi,  
Cello: Mitsuko Nagahama, Kazutaka Okasaka, Masamichi Ishikawa  
Contrabass: Kenichi Iga  
Cembalo: Naomi Hanzawa

代表: 伊賀健一  
ソロコンサートミストレス・指導: 吉井孝子  
事務局長: 藤井賀江子  
ステージマネージャー: 吉井昭夫  
ヴァイオリン: 吉井孝子, 藤井賀江子, 伊賀智子, 鈴木薫子, 今野早苗, 岡田水穂, 星 瑞枝, 古田真理子, 柄澤良和, 星島三智子, 舩澤恵理香, 前原綾希子  
ヴィオラ: 宮崎洋子, 森 克美, 荒木玲子, 松林友美  
チェロ: 長浜光子, 岡坂和孝, 石川正道  
コントラバス: 伊賀健一  
チェンバロ: 半澤尚美

MPB: <http://www.home.f09.itscom.net/mpb/>

**♪ The 18th Microconcert ♪**

**- A Social Event of MOC2017 -**

**Tuesday 21, November 2017, 17:15-18:15 (17:00 Open-door)**  
**Presentation Room in Bldg "S" at Komaba Research Campus**  
**University of Tokyo**

**Machida Philharmony Baroque Ensemble (MPB)**

♪ 第 18 回 マイクロコンサート ♪

- 微小光学会議 (MOC) 2017 -

2017. 11. 21 (火) 17:15-18:15 (開場 17:00)

東京大学・駒場リサーチキャンパス

S 棟 プレゼンテーションルーム

町田フィル・バロック合奏団 (MPB)

**Today's Program**

- 1) J. S. Bach: "Brandenburg Concerto" No. 3 G-Major BWV1048
- 2) A. Vivaldi: "Autumn" from Violin Concertos "The Four Seasons"  
F-Major Op. 8-3 Solo Violin: Takako Yoshii
- 3) G. F. Händel: "Ombra mai fu" Vocal: Hirochika Nakajima
- 4) E. Elgar: "Serenade for Strings" E-Minor Op. 20
- 5) B. Britten: "Simple Symphony" Op. 4

**プログラム**

- 1) バッハ: 『ブランデンブルク協奏曲』第3番
- 2) ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲『四季』より「秋」  
独奏ヴァイオリン: 吉井孝子
- 3) ヘンデル: 『オンブラ マイ フ』  
歌: 中島啓幾
- 4) エルガー: 『弦楽のためのセレナーデ』
- 5) ブリテン: 『シンプル・シンフォニー』

主催: 微小光学国際会議 (MOC2017)  
Sponsor: MOC2017 <http://www.moc2017.com>